

第99回 理事会（平成17年度第9回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成18年3月7日（火）19：00～21：00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館2階第2会議室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康雄、上田 英之、菊地 富士夫、
（理事）柴田 秀一、本田 衛義、徳本 進、長久保 巖、佐々木 生道、
川田 光代、清水 忠、木村 徳善、百海 廷、栗田 謙悟、
平沢 幸一、斎藤 幸雄、吉岡 去私

欠席理事：（会長）河野 洋平
（常務理事）渡辺 三郎、越前谷 芳隆
（理事）岡本 洋一、菊地 勇二

4. 出席監事 井駒 利一、木村 信吉
5. 議長選出 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出 清水 忠理事、栗田 謙悟理事を選出
7. 書記 大井 智子広報委員を指名
8. 議 事

1) 競技本部関係

(1) 報告事項

① 第61回国民体育大会スキー競技会（2月19日～22日）について

菊地本部長より、別紙のように結果報告があり、「コースは難易度が高く、結果はふるわなかったが、少年男子は4人の内3人が70番以内に入り、ジュニア育成が順調にいけば3年後はトップ10入りも可能と思われる。社会人については入賞者が出るには厳しい状況にあり、大学スキー部の優秀な選手を引っ張るなど、選手の環境を立直して臨むことが必要である」との報告があり、了承された。

② 神奈川県総合体育大会冬季大会スキー競技会について

菊地本部長より、別紙のように結果報告があり、川崎の選手が全治2週間のケガをしたが、今後、参加選手の保険加入の義務付けを検討したいとの報告があり、了承された。栗田理事より、来期への課題として、前日に大会コースをオープンにしたが、今年はペンション村に宿泊が分かれ、受入れ態勢が伝達されてなくチェックインでの時間ロスが発生した。行事直前には周知が必要であるとの報告があり、了承された。

③ 神奈川県スキー選手権大会（技術系種目）について

菊地本部長より、延べ545名の参加があり、この中でジュニアの参加が増えていると報告があり、了承された。

④ 派遣事業について

菊地本部長より、全国中学校スキー大会（2月3日～8日）へ中田圭専門委員をコーチとして派遣した旨の報告があり、了承された。

(2) 審議事項

① 歩くスキーバスツアーの中止について

平沢理事より、3月25日～26日に予定しているノルディックの「歩くスキーバスツアー」への参加者が現在9名で、うち6名が役員と専門委員のため、中止したい旨の提案がなされ、承認された。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

①木村理事・百海理事より、下記行事（別紙配布参照）に関する報告があり、了承された。

- イ) 五竜Ⅲ 養成講習会(H)(I)、ブライズテスト、パトロール養成/強化合宿行事開催
 期日：2月15日～17日 会場：白馬五竜スキー場
 参加者：養成38名、パト養成/強化合宿14名、ブライズテスト12名
- ロ) 強化合宿Ⅲ スキー技術強化合宿[指定選手](C)開催
 期日：2月18日～20日 会場：苗場スキー場
 参加者：指定B11名、指定C9名
- ハ) SB石打丸山行事 第6回神奈川県スノーボード技術選手権大会開催
 期日：2月19日(日) 会場：石打丸山スキー場
 参加者：40名
- 二) 車山Ⅲ スキー養成講習会、スキーレベルアップ講習会、SBレベルアップ講習会開催
 期日：2月24日～26日 会場：車山高原スキー場
 参加者：養成94名、レベルアップ2名、SB研修会34名、SBレベルアップ16名
- ・清水理事より、別紙の通り「準指受検生の山田ミサ子さんのケガ」について、経過報告があり、了承された。午前中にキャプテンコースで転倒し、諏訪中央病院で「右大腿骨頸部骨折」と診断され、午後に手術。清水理事と森本専門委員が付き添い、そのまま入院した。平沢理事より「教育の理事は、模範的な対応がなされたのではないか」という意見や、片専務理事より「重大事故にはそれなりの原因が潜んでいる。今後の行事に生かしてほしい。気象状況、本人の体力・技術・疲労度などを考慮して、講師は安全対策を徹底してほしい」との要望が出された。
- ホ) 車山Ⅳ スキー準指検定会、BC級公認検定員検定会、SB準指検定会開催
 期日：3月3日～5日 会場：車山高原スキー場
 参加者：準指121名/合格29名・合格率24%、BC級12名/合格12名、合格率100%、SB12名/合格12名・合格率100%
- ・木村理事より、「準指検定会の受検者121名に対しての合格者は29名で、24%という厳しい合格率となった。」との報告があった。平沢理事より「なぜ合格率が低いのか？」と質問があり、清水理事から、「理論試験の合格率は70数%だった。実技では、すべての養成講習会で検定の着眼点について説明しているにもかかわらず、理解度がいまひとつだった。今回、不合格となった受検生のデータは、来年にも生かすことができる」との報告があった。片専務理事より、「合格率の数値が出ているので、今回どのような傾向があり、それに対してどのように臨んだ結果、このような結果になった、といった見解を、教育本部内でまとめてほしい」との要望があり、了承された。平沢理事より「受検者も、合格率も減ってきた。参加者が一人でも多くなる方法を検討してほしい」との意見があり、清水理事から「今回、ビデオを撮った。どこを直すべきかというコメントを記入したカルテを受検生全員に返す。受検できる態勢については、県連として最後までフォローしていきたい」との報告があり、了承された。
- ヘ) 第5回環富士スキー技術選手権大会開催(主管：千葉県)
 期日：3月11日～12日 会場：白馬五竜スキー場
 参加者：男子226名、女子61名、合計287名
- ②パトロール検定会の手続きミスについて
 上田本部長より、「3月3日のパトロール検定会で、現地から受検生の願書が届いていないとの報告があり、事務局で調べた所、教育本部のロッカーの棚に願書が残されていた。更に3月25日～26日のパトロール研修会の申込書が一枚出てきた。受検はできたが、事務局にも迷惑をかけたので、原因究明と今後書類をどう扱うか、見直す必要がある」との報告があり、了承された。
- (2) 審議事項
- ① SAJデモンストレーター推薦について
 木村理事より、SAJデモンストレーター選考会に、佐藤拓也・神山良平の2名を推薦したい旨の提案がなされ、承認された(2月20日締め切りのため、事後報告)。
- ② パトロール技術競技会の派遣選手について
 木村理事より、別紙の通り選手24名、役員2名をパトロール技術競技会へ派遣することの提案がなされ、承認された。
- ③ SB技術選の派遣選手について
 百海理事より、別紙の通りSB技術選に選手9名を派遣する提案がなされ、承認された。
- ④ SB準指検定員の承認について
 百海理事より、主任検定員：金子敦、検定員：小池光、今井正隆(SAC)、スタート審判：甲

- 田慎一郎、武田真人（SAC）とする提案がなされ、承認された（3/3～5実施のため事後報告）。
- ⑤指導員養成講習会の補講費用について
百海理事より、ガーラ湯沢（理論）8名×2千円＝1万6千円、五竜Ⅱ（理論）11名×2千円＝2万2千円、車山Ⅳ（実技補講）28名×2千円＝5万6千円と、1回につき2千円の補講費用収入の提案がなされ、承認された。
- ⑥全日本スキー技術選、ジャッジ研修会Ⅲ（3月16日～19日）について
百海理事より、4名のジャッジ研修者について、3万円／人の打ち切り補助の提案がなされ、強化合宿の予算枠内であり、承認された。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

① 資金運用状況について

上田本部長より、資金運用について2月末の預金残高は3325万1056円で、16年度の3004万8606円とほぼ同等との報告があった。また、新公益法人会計対応については現在準備中で、次回の理事会で詳細を伝えると報告があり、了承された。

② 登録状況について

長久保理事より、3月7日現在の登録手続き状況は、一般5622名、総数6135名で、学生を入れると若干昨年を上回る。また、団体登録は新規登録5を含め、総数271との報告があり、了承された。

③ HC委員会について

上田本部長より、3月25日～26日に「第8回障害を持つ方のためのスキー教室」が車山高原スキー場で開催される予定で、これについて2月21日及び26日にHC委員会が行なわれたとの報告があり、了承された。

④ 広報委員会について

徳本理事より、現在『SAKだより51号』の編集作業中、SAJ '06年鑑の「県連だより」にSAKについて載せたと報告があり、了承された。

⑤ 個人情報保護委員会について

徳本理事より、2月21日に総務本部HC委員に個人情報に関する教育を実施し、10名が受講したと報告があり、了承された。

⑥ 協賛拡大委員会について

長久保理事より、今年度の協賛金入金状況について、26社からの振り込み合計金額は296万円で、昨年度の実績の90%で、協賛予算の54%なので、ぜひ協力を呼びかけてほしいとの報告があり、了承された。

⑦ 普及振興委員会について

佐々木理事より、3月26日～27日に予定している「ジュニア行事」について、「横浜市の教育委員会を通じ約300校にパンフレットを配りその反応がよかったこともあり、目標の定員70人をクリアした。参加者の9割が用具のレンタルを希望し、子どもは荷物を持ちづらいのでレンタル希望率が高いとわかった。来年につながる行事にしたい」との報告があり、了承された。

また、佐々木理事より「2月22日の会社の人事異動で、4月1日から親会社のある北海道・室蘭への転勤が決まった」との報告があり、残務期間は総務本部内で対応することで、了承された。

⑧ 賛助会費関係について

上田本部長より、平成17年度の賛助会費は3月2日現在で26万円との報告があり（昨年38万3000円）、了承された。

⑨ 平成18年度かながわ・ゆめ国体記念スポーツ振興基金活用補助事業の申請について

上田本部長より、上記補助事業に30万円の補助金申請を4月30日までに提出する、との報告があり、了承された。

⑩ 事務所水道料金について

上田本部長より、「ソレイユ台町の管理人トリウミ興産株式会社からの水道料金が不当に高額であると判明。402号室のエス・イー・ディーが代表して弁護士を立て、水道料金の算出根拠を求める開示請求を行っている。説明会が行われることになった場合、総務本部の会計担当の出席をお願いしたい」との報告があり、了承された。

⑪ 公益法人の情報公開についてのHP開設状況、リンク設定承認などについて

上田本部長より、神奈川県教育委員会のHPからSAKのHPにリンクしてもらえることになり、

開示内容について県教育委員会教育局行政班にFAXしたと報告があり、了承された。

⑫ 廃棄処分物品などについて

上田本部長より、各自事務局に行った時は、「廃棄処分物品（電話器関係、ゼッケン）、保管物品（書籍、その他）、保存ケース買い替えなど」について、確認してほしいとの報告があり、了承された。

（２）審議事項

① 規約規定集の改定について

徳本理事より、現在の規約規定の見直しを行ない「規約・規定集の見直し一覧表」（別紙）に整理したので、各自これの内容確認してもらい、次回の理事会で審議を行いたいとの提案があり、承認された。

② 役員候補選出委員について

片専務理事より、役員候補選出委員２６名が選出（別紙）された旨の提案がなされ、承認された。これにより３月８日（水）に第１回役員候補選出委員会を開催する報告があり、了承された。

③ SAJ評議員候補者推挙について

上田本部長より、推挙期限は４月末までと報告があり、片専務理事より、「従来、専務理事と常務理事を推挙している。役選を経て今年度もそのようにしたい」と提案がなされ、承認された。

④ 日本体育協会第１回「日本グランプリ」候補者推薦依頼について

上田本部長より、３月２５日までの推薦依頼があったとの報告があり、片専務理事より、「事務局長と相談して該当者がいるようであれば推薦したい」との提案がなされ、承認された。

４）その他

① 次年度の事業計画の原稿締め切りについて

平沢理事より、「評議員会資料となる次年度の事業計画の原稿は、いつごろまでに必要か、早めにスケジュールを教えてほしい」との要望が出された。片専務理事より、「役選や新公益法人会計対応にもからむので、よろしくお願いしたい」と意見が出され、本田理事から、「了解しました」と回答があった。

② 押川顧問からの提案事項について

野地副会長より、「押川顧問から、２００７年に団塊世代が定年を迎えるため、そこにスポットを当てた事業が重要になる。またSAK事業について、メディアを通して広く一般スキーヤーに広報活動した方がよいなどのご意見をいただいた。」との報告があり、了承された。

③ 木村監事よりコメント

評議員会に向けて、体調に気をつけてがんばってほしい。

④ 井駒監事よりコメント

準指検定会、スノーボード検定会を監査した。各種目の移動がたいへんスムーズで、時間通りに検定会が進み評価できる。スノーボードは１２名の受検者がいたが、受検生の態度はてきぱし、いい検定会ができたことを、評価したい。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成１８年 ３月 １８日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印